

わろうて

～わかやまろうさい病院からのおてがみ～

謹賀新年

和歌山ろうさい病院

病院長 南條輝志男



—「丙午(ひのえうま)」年頭のご挨拶—

令和8年・「丙午(ひのえうま)」の年頭に当たり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては佳き新春をお迎えのことと存じます。

昨年を振り返りますと米国では1月に第二期トランプ政権が発足し、自国ファーストを打ち出し、関税による混乱が世界各国で起きました。日本では初の女性内閣総理大臣が誕生し、政治・経済の大きな転換期を迎えたことを実感しています。大阪関西万博が開催され、開催当初メディアでは開催しても大赤字になる、キャラクターのミャクミャク君が気持ち悪い等不評でしたが、蓋を開けてみれば連日の大盛況でミャクミャク君の人気も上昇し、素晴らしい万博となりました。また、昨年もMLB、特にワールドシリーズでドジャースの山本・大谷・佐々木の日本人選手が大活躍し、スポーツ選手からたくさんの元気をいただくことが出来ました。更に、12月に発表されたノーベル生理学・医学賞を大阪大学特任教授の坂口 志文氏が、化学賞を京都大学特別教授の北川 進氏が受賞され、色々な分野で日本が中国等多くの国に後れを取っているのではないかという劣等感を払拭してくれる朗報となりました。

京都清水寺で発表された昨年の漢字として1位に選ばれたのは「熊」でした。今まで出没しなかった人間の居住区に熊が頻繁に現れ、危害を加えるという問題が頻発し、自然環境破壊の結果がこのような形で現れたことに驚かされました。

一方、当院における朗報として、林 宣秀第二脳神経外科部長が労災本部から令和7年度優秀な研究者に、谷本 敏産婦人科部長が和歌山市母子衛生功労者に、江守 智哉消化器内科副部長が和歌山医学会青洲賞に、遠藤 栄理看護副部長が和歌山県ナース賞に、辻中 清晃中央リハビリテーション部長と谷口 雅基中央放射線技師が和歌山県保健衛生功労者に、そして堀 紀陽美師長が和歌山県看護協会会長表彰に選ばれるなど慶ばしいことがありました。栄えあるご受賞の皆様に心から祝意と敬意を表します。そして、内科に田村 志宣先生をお迎えし、本年4月1日に開設予定の総合診療科の立ち上げ準備に当たっています。

今年も医療を取り巻く環境が益々厳しさを増すことが危惧されますが、我々は馬車馬の如く「働いて、働いて、働いて、働いて参ります」とは言い難い「医師等の働き方改革」の大きな壁があります。そこは持ち前のタスクシフトによるチーム医療で、効率よく対応して参ります。私は「老いたる馬は道を忘れず」という諺の様に、これまでの多くの経験を活かして当院を皆様に愛され、誇りを持っていただけの病院として維持していくよう邁進する所存ですので、引き続きご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりましてご多幸の年になりますよう、祈念申し上げます。



日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本 93 番 1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用 FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.<https://www.wakayamah.johas.go.jp/>

和歌山ろうさい病院の理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、
安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

泌尿器科の紹介



泌尿器科部長 井口 孝司

泌尿器科は2025年度より常勤医が1名少なくなり、常勤2名の体制で診療を行っています。そのため、手術日である水曜日と金曜日は外来および緊急対応が困難な場合もあり、ご迷惑をおかけしています。

当科では良性・悪性にかかわらず泌尿器科疾患全般に対応できるように努力しています。

各種悪性疾患に対しては、各々の疾患のガイドラインに基づき、精密検査および治療（手術、放射線治療、薬物療法など）を行っています。また、当科で施行できない治療法、例えばロボット手術や重粒子線治療などを希望される患者様には実施施設への紹介を行っています。薬物療法については、本邦で承認されている最新の治療薬を取り入れ、使用できる体制を整えています。また、一つの治療法にこだわらず、手術、放射線、薬物療法を組み合わせることで、患者様それぞれのライフスタイルに合った治療方法を検討し、ご提案させていただきます。

各種良性疾患に対しても、ガイドラインに基づいた検査と治療を行っています。

尿路結石症に対しては、できるだけ自然に石が出るように薬物などを使用しながら治療を行います。しかし、結石が大きい方や長期間石が出ない方に対しては、経尿道的尿管碎石術（TUL）を行います。当科では最新のレーザー機器を導入しているため、安全かつ効率的に手術が行えます。

頻尿や排尿困難といった症状に対しては、膀胱機能評価や前立腺の精査（男性の場合）を行い、薬物療法および生活指導を行います。前立腺肥大症手術においては、主流であるレーザーを用いた核出術に加えて、水蒸気を用いて前立腺を縮小させる治療機器（WAVE）を導入し、2025年秋より施行開始しています。WAVEの手術施行時間は10-15分程であり、出血も少ないため、入院期間も短く、様々な合併症を持つ方や高齢の方にも受けいただきやすい、低侵襲治療となっています。

今後も地域医療に貢献するため、努力を続けていきたいと考えています。今後とも、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



ICU / 救急の紹介



ICU/救急看護師長 射手矢 奈美

ICU/救急はICU・救急医療・内視鏡センター・血管内治療を担っており、救急医師2名と各診療科医師、看護師48名、看護師事務1名で患者さんに携わっています。クリティカルケア認定看護師2名・集中ケア認定看護師1名・脳卒中看護認定看護師1名や、特定看護師10名、内視鏡技師5名が中心となり専門的知識を用いて、患者さんにより質の高い看護を提供しています。また、医師、看護師、薬剤師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、管理栄養士、放射線技師、臨床工学技士と多職種でチーム医療を行い、患者さんが安全に治療を受けられるように取り組んでいます。

救急部門では地域医療支援病院として、24時間体制で救急患者を積極的に受け入れており、令和3年度から地域の医療機関へドクターカーによる救急搬送診療も開始しています。脳卒中や心筋梗塞など緊急の血管内治療・検査や、消化管出血や胆のう・胆管炎などの内視鏡治療も行っており、早期の診断、治療が行えるよう各部門で連携を図っています。また、救急診療や緊急検査、治療、重篤な患者の看護では、全診療科に対応できる多彩な知識、技術が求められるため、学習会や自己研鑽に取り組んでいます。

ICUでは脳卒中、急性心筋梗塞、心不全、呼吸不全、感染症によるショック状態などの重症な急性疾患や大手術後、救急蘇生後、外傷の患者さんの集中管理をしています。また、重症患者の廃用症候群や合併症を予防し、身体機能や日常生活動作の改善、さらに早期の社会復帰を目指し、多職種でカンファレンスを行い早期リハビリテーションを実施しています。

急性期医療において、突然の病気や事故で重篤な状態になった患者さんや家族に対し、治療方針の理解を助け、意思決定を支援するために、重症患者対応メディエーターも在籍しています。多職種連携を積極的に行い、患者さんやご家族への精神的・社会的支援も含め、思いやりを心掛けながら医療を提供いたします。



世界糖尿病デーについて

世界の糖尿病人口は5億8900万人で、20～79歳の成人の9人に1人が糖尿病ですが、その40%は糖尿病であることを認知していません。2050年には8億5300万人に増加する見込みで、発展途上国で患者の増加が著しく経済成長、生活水準の向上などに対する大きな妨げになっています。2006年に国連総会で糖尿病が世界的な脅威であると認められ、その予防・療養に関する啓発運動を世界的に推進する目的で、インスリンを発見したバンチング博士の誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」に指定しました。わが国ではこの日を含む1週間を全国糖尿病週間と定め日本糖尿病協会と日本糖尿病学会の共催のもとで様々な活動が行われることになりました。

2025年のテーマは～みんなで正しく理解しよう「ダイアベティス」～です。当院では11月11日に院内の災害医療研修棟で下記のようなイベントを開催しました。

**基調講演：「糖尿病とwell-being」副院長 若崎久生 先生
ミニレクチャー：「くすりについて」主任薬剤師 野際俊希 先生
相談・測定コーナー：医療相談、栄養相談、看護相談、運動相談、
お薬相談、インボディー測定（体成分分析）**

新規薬剤や測定機器の開発などにより糖尿病の治療も進歩しつつあり、糖尿病と診断されても適切な管理を行うことで、健常者と遜色ない生活の質を維持することは十分に可能です。みなさまも毎年開催される世界糖尿病デーのイベントに参加してご自身やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考え、予防にむけた一步を踏み出しましょう。

世界糖尿病デー in 和歌山ろうさい病院
～みんなで正しく理解しよう「ダイアベティス」～
（ダイアベティスとは？…新たな「糖尿病」の呼称です。）

日時 令和7年11月11日（火）受付12:30～
場所 和歌山ろうさい病院 災害医療研修棟

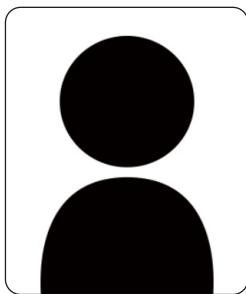
★講演の部（13:00～14:00）4階 大会議室
司会／和歌山ろうさい病院 健康診断部長 中 啓吾
I. 基調講演 13:00～13:30
「糖尿病とwell-being」
講師／和歌山ろうさい病院 副院長 若崎 久生
II. ミニレクチャー 13:30～14:00
「くすりのはなし」
講師／和歌山ろうさい病院 主任薬剤師 野際 俊希

★相談・測定コーナー（14:00～15:00）1階 フロア
★医療相談 ★栄養相談 ★看護相談 ★運動相談 ★お薬相談
★インボディー測定（体成分分析）
【先着8名様】
※引換券は受付時間開始時に希望者8名に配布します。
参加費・相談・測定無料！
駐車料金も無料対応致します。
たんぽぽの会（糖尿病友の会）に入会しませんか？
当日は「たんぽぽの会入会案内ブース」を設けております。
興味のある方は、ぜひお越しください！！！
日本糖尿病学会和歌山県支部の会員、糖尿病患者さんとその家族、医療スタッフ等で構成されています。同じ時間で糖尿病についての概要を深め、糖尿病について正しい知識や療養の方法・コツと一緒に学びませんか？

★売店「オアシス」では、低糖質商品を割引販売いたします。
世界糖尿病デーとは？ 増加し続ける糖尿病の恐ろしさを踏まえ、
国際連合は毎年11月14日を「世界糖尿病デー」として指名しました。
和歌山ろうさい病院 糖尿病センター
Tel:073-451-3181㈹
「世界糖尿病デーイベントについて」とお問い合わせください



令和8年1月新任医師紹介



高櫻 真依子 先生

産婦人科医師

和医大卒業後、日赤で初期研修をし、そのまま日赤の産婦人科で2年間働いておりました。短い間ですが、よろしくお願いします



「かかりつけ医」のご紹介



和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

医療法人 クリニック宮本

診療科目 泌尿器科、内科

住 所 〒640-8472 和歌山市大谷106-1

電 話 073-454-1500



院長 宮本 憲治 先生

クリニック宮本は平成5年12月9日に開設されました。

敷地内にある駐車場は約15台駐車可能なほど広く、大きな窓があることで日光が入りやすく明るい待合室も特徴的です。

先生は泌尿器科をご専門とされており、泌尿器科悪性疾患の早期発見を目指しています。さらにかかりつけ医として内科の診療、特に生活習慣病の悪化予防を目的とした治療にも力を入れられています。患者様は比較的高齢の方が多いですが、生活習慣病で通院される中高年の患者様も少なくありません。

患者様が泌尿器科一般治療や生活習慣病診療を身近に感じられるよう、共に考えることを心がけて日々の診療を行っておられます。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

クリニック 宮本 診療時間		月	火	水	木	金	土	日
	午前 (8時~12時)	○	○	○	○	○	○	休
	午後 (15時40分~18時)	○	休	○	休	○	休	休

※休診日：火・木・土曜午後、日曜祝日

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和8年1月1日現在

診療科	ブロック	診療室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中尾 隆太郎	若崎 久生	中 啓吾	
		②番	田村 志宣	中尾 隆太郎	田村 志宣	中野 雄斗	丸山 杏奈	
		⑦番	大伴 裕美子 (午前) (腎臓内科)	南條 稔志男 【第2週休診】	—	—	北 浩光 (腎臓内科)	
		⑩番	—	—	—	—	リウマチ・膠原病内科診 第1・3・5週 岩田 慎 第2・4・6週 西川 太朗 【再診のみ】	—
		⑪番	—	—	リウマチ・膠原病内科診 第1・3・5週 岩田 慎 第2・4・6週 西川 太朗 【再診のみ】	—	—	
脳神経内科	A	⑪番	椿皮谷 泰寛	(午前) 堀 翁平 (予約患者のみ) (午後) 小代 麻由	休 診	椿皮谷 泰寛	椿皮谷 泰寛	—
血液内科	A	⑪番	阪口 臨	休 診	阪口 臨	休 診	休 診	—
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	庄野 剛史	庄野 剛史	—	休 診	—
消化器内科	B	⑥番	辰田 仁美	—	前部屋 賢	辰田 仁美	休 診	—
		⑪番	当番医	江守 智哉	深津 和弘	江守 智哉	内視鏡センター診	—
		⑫番	与田 武徳	大西 紀幸	渥口 仁史	垣本 哲宏	深津 和弘	串上 邁香
肝臓内科	B	⑬番	玉井 秀幸	岡村 順平	玉井 秀幸	玉井 秀幸	玉井 秀幸	—
循環器内科	A	⑫番	小川 真未	小向 賢一	林 泰	林 泰	山本 康徳	
小児科	C	⑨番	西大條 俊幹	—	山本 康徳	—	小向 賢一	火・木
		⑨番	上田 美奈	当番医	伊藤 恵平	小森 有紀	上田 美奈	
		⑩番	西川 香瑠	当番医	西川 香瑠	伊藤 恵平	小森 有紀	
		特診⑨	小森 有紀	上田【予防接種】	伊藤 恵平	上田 美奈	【第1週目】神経・発達 前田 真範	
		特診⑩	第1・3・5週 伊藤 恵平 第2・4週 西川 香瑠	—	西川 香瑠	小森 有紀	【第4週目】神経・発達 篠崎 浩平	
外科	B	⑦番	山本 基	岩橋 誠	宮澤 基樹	岩橋 誠	山本 基	
		⑧番	桐山 茂久	福田 直城	桐山 茂久	福田 直城	宮澤 基樹	
		⑨番	—	山本 裕介	—	—	—	月・火・水・木・金
		⑩番	—	—	—	ストーマ外来 (予約制)	—	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	
		④番	峠 康	岩田 勝栄	瀬口 登	スポーツ整形診 麻殖生 和博	野中 研人	
		⑤番	当番医【紹介新患診】	瀬口 登	平 一裕	大西 麻紀子	平 一裕	
		⑥番	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	
		⑦番	野中 研人	—	—	—	—	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭	林 宣秀	岡田 秀雄	当番医	林 宣秀	火・木
		【第2週目以降】 岡田 秀雄						
		⑬番	鐵尾 佳章	第1・3週 小山 佳輝 第2・4週 川口 匠	第1・3週 山口 由佳 第2・4週 鐵尾 佳章	—	川口 匠	
		⑭番	山口 由佳 救急待機	第5週 当番医	第5週 当番医	—	小山 佳輝 当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	玉置 刚司 (乳腺外来) (予約患者のみ)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	月
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休 診	下松 達哉	坂本 翔一	下松 達哉	
		②番	野田 莉佳		坂本 翔一	野田 莉佳	【第1・4・5週】坂本 【第2・3週】野田	火
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	休 診	鈴木 淳史	休 診	休 診	水・金
産婦人科	D	②番	出口 龍良		井口 孝司	井口 孝司	休 診	
		⑩番	高橋 真依子		佐藤 あゆみ	助産外来 (予約制)	高橋 真依子	
		⑪番	吉村 康平		吉村 康平	当番医	当番医	
		⑫番	谷本 敏		高橋 真依子	谷本 敏	佐藤 あゆみ	
		午後予約	—		—	母親教室 (予約制)	—	
眼科	D	⑤番	坂東 雄一 (午前)	佐々木 秀一郎 (午前)	佐々木 秀一郎	休 診	佐々木 秀一郎	
		⑥番	佐々木 秀一郎 (午後)		—		—	
		午後予約	—	検査 (予約制)	—	—	—	月・木
耳鼻咽喉科・頸頭部外科	C	⑤番	森山 智美	休 診	森山 智美	森山 智美	福田 祐也	
		⑥番	福田 祐也		—	福田 祐也	—	
		⑦番	睡眠時無呼吸外来 (予約患者のみ)		—	—	—	火・水・金
		午後予約	瞼下外来 福田 祐也		—	第2・4週 瞼下外来 福田 祐也	福田 祐也	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	—
放射線科	IVR 放 射 線 治 療 画像診断	2診	当番医	—	当番医	—	—	
		三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 塩谷	
		千葉 邦弘	千葉 邦弘	千葉 (午前) 予約患者のみ	千葉 邦弘	千葉 邦弘	千葉 邦弘	
女性専用外来 【完全予約制】	A	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		午後 【予約制】	—	第1・2・3・4週 総合(漢方) 外来 辰田 仁美	—	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	—	
		⑦番	—	—	—	第2・4週 漢方外来 神人 美報子	—	
専門外来		専門外来 【予約制】	庄野 剛史	禁煙外来 (14:00~14:30)	—	肥満外来 (15:00~16:00)	中 啓吾	—

(注1)

1. 小兒科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
 2. 皮膚科の火曜日、耳鼻咽喉科・頸頭部外科の火曜日、泌尿器科の水曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
 3. 母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
 4. 助産外来は、毎週火曜。木曜日 9時~15時です。(予約制)
 5. 耳鼻咽喉科・頸頭部外科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
 6. 糖尿病教室は、平日曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
 7. 女性外来。専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、労働者医療総合センター直通番号 (073-451-3303) までお申込みください。
8. 各診療科の専門外来については、病院代表番号 (073-451-3181) を通じて各専門外来までお問合せください。
9. 前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

(注2)

- セカンドオピニオン外来の詳細については、地域医療連携室 (073-451-3186) までお問合せください。
- ※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
- 『診療予約をせずにご来院されますと、担当医師が対応できない場合があり、また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします』
- 【予約専用電話】 073-451-3186